

平成29年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

平成29年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科の実施となりました。

国語と算数の2教科で、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	74.8%					○
国語B	57.5%					○
算数A	78.6%					○
算数B	45.9%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	69.2%					○
書くこと	60.6%					○
読むこと	70.2%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.0%				○	

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことについておおむね理解できていました。さらに、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの考えの共通点や相違点を整理することができるように指導していきます。
- 「書くこと」では、目的や意図に応じ、手紙の構成に基づいて書く事柄を整理し、適切に敬語を使いながら、内容の中心が明確になるように手紙を書くことについて理解しています。さらに、礼状など実用的な文章の基本的な形式や内容について理解できるように指導していきます。
- 「読むこと」では、目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことを苦手としています。目的や事柄を明確にし、キーワードや中心文を手がかりに、必要な情報を見つけることができるように指導していきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、俳句の表現の特徴や情景、季節感をとらえることができます。さらに、言葉の持つ豊かさや多様性を感じ取り、文語の調子に親しむことができるように指導していきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	64.9%	○				
書くこと	53.4%					○
読むこと	49.2%					○

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、自分の考えが伝わるように話の構成や内容を工夫したスピーチメモを考えること、聞き手の反応を意識し、場に応じた適切な言葉遣いを意識しながら、内容を整理して話すことについて理解が不十分でした。話し合ったことの要点を短い言葉で順序立てて話せるようメモを活用し、相手や場に応じた言葉遣いを意識させながら話すことができるように指導していきます。
- 「書くこと」では、文章の構成や表現を工夫し、自分の考えを的確に伝える依頼文を書くことができます。さらに、読み手を説得するために引用を効果的に用いて書くことができるように指導していきます。
- 「読むこと」では、物語を読んで考えたことを発表し合い、叙述をもとに理由を明確にして自分の考えをまとめることができます。さらに、物語を読んで登場人物同士の関係や心情、場面の描写をとらえ、叙述と自分の体験を結びつけたり、他の作品と比べたりして読む経験を重ね、より豊かに想像を広げながら読むことができよう指導していきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	80.6%					○
量と測定	68.8%					○
図形	81.1%		○			
数量関係	79.6%					○

【考察】

- 「数と計算」では、整数、小数の計算の仕方が理解できています。さらに、小数を整数に置き換えて考えるなど小数の仕組みや乗法・除法の性質を使ったり、文章から問題場面を的確にとらえ、絵や図を用いたりして計算できるように指導していきます。
- 「量と測定」では、平行四辺形と三角形の底辺と面積の関係は理解できていますが、単位を用いて比較や測定をすることを苦手としています。身の回りのものを用い、重さや長さなどの比較や測定の方法とその良さを理解することができるように指導していきます。
- 「図形」では、立方体の面と面の位置関係は理解できていますが、正多角形の性質を使った作図を苦手としています。正多角形を構成する活動を通して、その性質を理解できるように指導していきます。
- 「数量関係」では、□を用いて問題場面を式に表わすことや、資料を2つの観点から表を用いて分類整理したり、空欄に入る数を求めたりすることができています。さらに、文章から問題場面を的確にとらえ、記号を用いて式や図に表したり、資料を観点に沿って分類整理したりすることができるように指導していきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	52.8%					○
量と測定	47.0%					○
図形	13.2%			○		
数量関係	40.0%					○

【考察】

- 「数と計算」では、示された条件や考えをもとに資料から必要な数値を選択し、問題解決の方法とその理由を図や式などを用いて表現することができています。さらに、日常生活の中にある数量の関係を見いだす楽しさを実感させながら、言葉や式で表わすことの良さを理解できるように指導していきます。
- 「量と測定」では、測定値の平均を求める方法を正しく理解しています。さらに、能率的に処理するため、場面や状況に応じて見積もったり、仮の平均値を用いたりする方法をグラフや式、言葉などと関連付けて説明できるように指導していきます。
- 「図形」では、月の見かけの直径を硬貨の直径に置き換え、選択した答えとその理由を言葉や式を用いて記述する問題に課題がみられました。示された情報を図や言葉などに表し、説明することができるように指導していきます。
- 「数量関係」では、示された式の中の数の意味を表と関連付けながら正しく解釈し、それを言葉で記述したり、示された資料を目的に合った適切な表やグラフを選択して表したりすることができました。さらに、日常生活の事象を表やグラフの特徴をもとに表現したり、考察したりすることができるように指導していきます。